

住民×議会 みんなで未来を語る会 報告書

開催日時 令和7年10月24日（金）19時30分～

開催場所 リブラ若狭 講堂

テーマ	子育てしやすい町ってどんな町？
出席議員	中村美穂議員 谷川暢一議員 倉谷明議員
参加者数	10人
現状（課題他）	<ul style="list-style-type: none">・子育てでのコミュニティ（親同士の相談）の場が無い。 産後鬱増、子育てでの孤立化、さみしい・子供たちだけで遊べる場が無い。・小学中高学年以上が遊べる場（居場所）が無い。 コミュニケーション能力が育つか心配 よい意味での悪い子、パワーのある子が少ない 主体性が無い、自分の意志で動かない子が多い・公共交通機関が乏しい。 習い事へ行く、友達の家へ行くにも送迎が必要である・町の子育てビジョンや目指しているところが見えない。 保育所、小中学校統合での未来が見えない＝不安・自然を活かし、子どもたちが自由に遊べる空間が多い。・若狭里っ子保育の遊具を使わない遊びでいきいきしている。
意見・方向性 要望等	<ul style="list-style-type: none">・子供は自然の中だけでなく、コミュニティの中で育つ。・子育て支援の他市町との違いを出して欲しい。 若狭町だからできることを示す・子供を増やすのは補助金ありきではない。 子育て支援への情報の入手に一貫性が欲しい・保育所、小中学校統合の10年、20年後のビジョンを示す。・町の歴史、文化、祭等を学び郷土愛を育む。 移住より転出抑制に力を入れて欲しい・統廃合後の母校は残したい。こころのよりどころとして。 同級生との生活（遊び）でのつながりが地元に戻ってきたい と思うことになる <p>[提言]</p> <p>大人が若狭町の魅力を感じ、子どもたちにきらきらした姿を見せる</p>